

「やまと社会インパクトファンド」が 令和7年度 地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」に選定されました

南都銀行（頭取 石田 諭）の投資専門子会社である南都キャピタルパートナーズ株式会社（代表取締役社長 堺 敦行）と、株式会社キャピタルメディカ・ベンチャーズ（代表取締役 青木 武士氏）が共同GP（無限責任組合員）として運営する地域課題解決型のインパクトVCファンド「やまと社会インパクトファンド」が推進する地域社会課題の解決に向けた取組が、このたび内閣官房および内閣府が公表する令和7年度「地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」」に選定されました。

これを受け、内閣府特命担当大臣（地方創生担当）より表彰を受けましたので、お知らせいたします。

1. 本表彰について

地方創生に向けた創意工夫のある事例が全国各地に広がることを目的とし、内閣官房および内閣府が、全国の金融機関等から報告された地方創生に向けた取組のうち、地方公共団体等と連携している取組や先駆性のある取組を選定し、表彰されるものです。

2. 受表彰した取組について

名 称	インパクトファンドを通じた地域課題解決「やまと社会インパクトファンド」
概 要	<ul style="list-style-type: none">・奈良県および周辺の「やまと地域」における社会課題の解決と、実践者の輩出を目的に設立。・地域課題の可視化、インパクト志向の起業家育成を実施し、投資候補先の選定・評価から投資まで一貫して支援。投資後も社会的インパクト創出に向けた伴走支援、インパクト評価・公表までを継続的に実施。・銀行職員等を対象とした実践者育成にも注力し、地域内でインパクトを生み出す人財の循環を形成。
内 容	<ul style="list-style-type: none">・当ファンドは地域金融機関・自治体・地域内外の事業者と連携し、地域課題を「地域課題デザインマップ」として可視化。・可視化した課題を解決可能なプロダクト等を持つスタートアップを能動的に探索し、投資候補として選抜。選抜したスタートアップに対し、ニーズ確認・ステークホルダー拡大・実践者育成を目的とした地域課題解決型アクセラレーションプログラム（実証実験計画の策定・実施支援等）を当行と共同で実施。・上記プロセスを柔軟に活用しつつ投資を実行するとともに、伴走支援、社会インパクトの定量化および対外公表を実施。

【本件に関するお問い合わせ先】 経営企画部（広報） 甲村・粟子 TEL：0742-27-1599
南都キャピタルパートナーズ 大東 TEL：0742-27-1547

【ご参考】

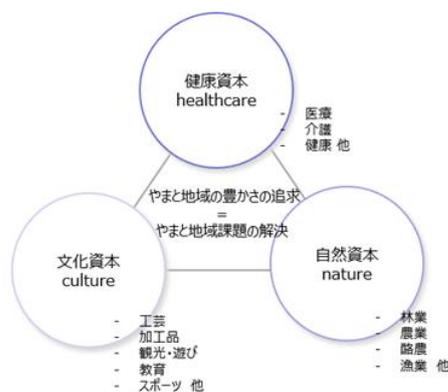
1. ファンドの概要

名 称	やまと社会インパクト投資事業有限責任組合
出資約金額	1,000 百万円
有限責任組合員	小山株式会社、トヨタユナイテッド奈良株式会社、株式会社南都銀行
無限責任組合員	南都キャピタルパートナーズ株式会社 株式会社キャピタルメディカ・ベンチャーズ
投資対象	やまと地域の課題を解決するスタートアップ企業（下記ご参照）
投資形態	株式会社の発行する株式もしくは新株予約権の取得等
設立日	2022年10月1日
運用期間	10年間(投資可能期間5年)

2. 投資対象

やまと地域の課題を解決するスタートアップ企業。
具体的には、やまと地域の豊かさの追求という
考え方において、

- ① ヘルスケア領域である『健康資本 (healthcare)』、
- ② 農業や林業、漁業といった『自然資本 (nature)』、
- ③ 教育や工芸や文化財、観光、スポーツといった『文化資本 (culture)』の3領域を対象としている。



3. 受彰式の様子 (2026年3月13日(金))



株式会社キャピタルメディカ・ベンチャーズ
代表取締役 青木 武士氏

津島 淳 内閣府副大臣

南都キャピタルパートナーズ株式会社
代表取締役社長 堺 敦行